

患者さんと柏病院を
つなぐ広報誌

VOL.32

2024

(8月)

かけはし



新任診療部長紹介

2人主治医制のご案内

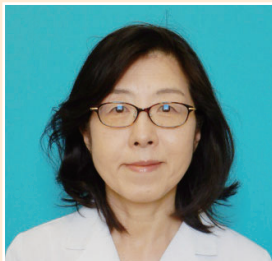
特集

夏場に多い脱水、水中毒、
食中毒と高齢者

病院HPはこちら ▶



新任診療部長紹介



総合診療部

海老原 孝枝

(えびはら たかえ)

●専門分野：

老年医学

●患者さんへ一言：

長年、包括的な高齢者診療に従事してまいりました。皆様、よろしくお願いいたします。



小児科

南波 広行

(なんば ひろゆき)

●専門分野：

感染症、予防接種、内分泌

●出身地：

●特技・趣味：

●患者さんへ一言：

地域の子供達の健やかな成長発達のために、尽力していきます。



病院病理部

佐藤 峻

(さとう しゅん)

●専門分野：

泌尿器・男性生殖器腫瘍・病理

●出身地：

●特技・趣味：

●患者さんへ一言：

質の高い病理診断を通じて地域医療に貢献したいと考えております。

特集

夏場に多い脱水、水中毒、食中毒と高齢者

●東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部 海老原 孝枝

家

の中で過ごしているだけでも、特に高齢者は、しばしば脱水が起きます。

口渇、めまい、食欲不振などの初期症状から、中等度であれば、頭痛、嘔吐、舌表面や皮膚の乾燥、尿量の減少、重度になると意識障害、けいれんなどを呈することもあります。一般的には、こまめな水分補給、過度の飲酒は控える、就寝前・起床後にコップ1杯の飲水、適度な空調使用が提唱されています。大量発汗（特に、睡眠中）により体内の水分が失われた結果、脳梗塞、心筋梗塞、肺梗塞など発症しやすいことに御注意ください。

一方、こまめな水分補給を行った結果、いつのまにか水中毒になってしまうこともあります。

過剰な水分摂取にともなって低ナトリウム血症を呈した結果、倦怠感、頭痛、嘔吐、意識障害など脱水と似た症状を示します。暑い日は水分と同時に塩分の摂取も心がけましょう。経口補水液やゼリー、スポーツドリンク、塩分を含んだタブレット（誤嚥に注意!）も市販されています。

また、冷蔵庫内の消費期限のきれた食材、作り置きのおかずの残りを食し下痢や嘔吐を呈することも、脱水の一因となります。でありますから、訪問看護や介護・栄養指導など社会支援をうまく利用しながら、脱水・水中毒そして食中毒を発症しないよう、特に認知症の高齢者をご家族および地域で見守ることが大切だと思います。





リハビリテーション科

長谷川 雄紀

(はせがわ ゆうき)

●専門分野：

リハビリテーション

医学、脳卒中リハビリテーション

●出身地：

栃木県

●特技・趣味：

料理、特に魚料理

●患者さんへ一言：

地域の皆様とも協力してより良いリハビリテーション治療を提供してまいります。



眼科

堀口 浩史

(ほりぐち ひろし)

●専門分野：

白内障・網膜硝子体

●出身地：

群馬県

●特技・趣味：

食べること歩くこと

●患者さんへ一言：

お近くの先生と一緒に併診させていただく「第二のかかりつけ医」として地域医療に貢献させていただきます。

2人主治医制のご案内

「2人主治医制」とは、患者さんを中心として地域の「かかりつけ医」と当院の医師が互いに連携し、共同で継続的に治療を行うことです。

かかりつけ医



- ① 初期治療
- ② 日頃の健康管理
- ③ 慢性的な病気
- ④ 経過の観察、普段の診察



慈恵医大柏病院

- ① 高度かつ専門的な検査・治療
- ② 入院を要する治療・検査・手術
- ③ 病状が急変したときの救急医療



かけはし
バックナンバーの
ご案内



バックナンバーは
こちらから

東京慈恵会医科大学附属柏病院

〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1

TEL.0570-04-7164 (ナビダイヤル)

<http://www.jikei.ac.jp/hospital/kashiwa/>